

ここ数年、MSM での流行は変わらないものの、移民の感染件数は減少傾向を見せている。

2. 米国（主に参考・引用資料 1 の 2007 年版参照）

米国の HIV 新規感染と新規 AIDS 件数のサーベイランス報告書データは主に 3 種類ある。まず、補正されたデータである「Estimated numbers/rates」。これは報告の遅れや感染経路情報のないケースなどを補正し統計的に計算された推定値で、診断年に基づき集計してある。AIDS データでは合衆国 50 州とワシントン DC だけを扱っているものとプエルトリコなどの海外領土の数値が入っているものがある。また、HIV データは Confidential name-based で十分な期間（遅くとも 2007 年報告書の場合 2003 年から）報告されている州のものだけを含んでおり、2007 年年間報告書（Vol.19）から 1 州追加され 34 州のデータとなっている（図表によっては 5 つの海外領土データも含む）。この 34 州のデータは 50 州とワシントン DC の全ケースの約 66% を現していると考えられている。また HIV データの多くは「HIV/AIDS」として AIDS 未発症の HIV 陽性ケース、HIV 感染症と診断された後 AIDS 発症したケース、HIV 感染診断時に既に AIDS を発症しているケースが含まれている。CDC では流行の分析にはこの数値を使用するよう薦めているが、この推定値は比較的新しく 1999 年以降分しか入手できない。

次に「Reported cases」では、報告の遅れなどの補正はなされておらず、CDC に報告された年に基づき集計されている。AIDS データでは 50 州とワシントン DC（図表によっては）5 つの海外領土のデータが示されているが、HIV データでは Confidential name-based で報告されている州のものだけを含んでおり、2007 年の報告書からは 2 州とワシントン DC が増えて 47 州とワシントン DC、図表によっては海外領土 5 つのデータも含まれている。補正

済みのデータとは異なり、ほぼすべてのデータは AIDS 未発症の HIV 感染症ケースのみを扱っている。

最後に「新規 HIV 感染症推定件数と推定発生率（Estimated numbers and rates new HIV infection）」で、2007 年年間報告書で初めて報告され、「National incidence surveillance」として扱われている（Vol.19 では 2006 年分のみ）。これは STARHS（Serologic testing algorithm for recent HIV seroconversion）と呼ばれる手法を用い、HIV 感染がここ最近の約 5 ヶ月の間に生じたものかどうかを判定し、そのデータに基づいて 50 州とワシントン DC における 2006 年の発生率（Incidence）が計算されている。これからは毎年更新されてゆく予定である。

34 州の HIV/AIDS 補正済データにおいて、2004 年から 2007 年で新規 HIV 感染が 15% 増加している。しかし、この増加は主に州の報告規定が変更になったことと、検査数が増えたことに起因していると考えられており、推定発生率の分析からは近年増加しているという事実を支持する結果は出なかったようである。

流行当初、一番の影響を受けていたのは白人であったが、現在ではアフリカ系アメリカ人が 51% を占め、10 万人あたり白人で 9.2 件、ハワイ太平洋諸島出身者で 34.6 件であるのに対し、アフリカ系では 76.7 件である。同じく感染経路では同性間性的接触（MSM: Men who has Sex with Men）と静注薬物濫用（IDU: Injection drug use）が影響を受けていたが、現在では異性間性的接触が増えて IDU と順番が逆転し、2007 年度 HIV 報告は増加を続ける MSM（53%）と異性間性的接触（32%）のみで全体の 85% を占めている。

年代別では、2007 年、ほとんどで変化がなかったが、13 歳未満の子どもと 30 代で減少している。最も件数が多かったのは 40-44 歳で、全体の 15% を占めた。

2007 年報告書から新たに出示された 2006 年度 HIV 新規発生率（HIV Incidence）は 50 州とワシントン CD 全体で 10 万人あた

り 22.8 件、56,300 件と推定された。男性が全体の 73% (41,400 件) を占めている。

人種別で最も多かったのはアフリカ系で、24,900 件、10 万人あたり 83.7 件であった。年齢別では件数で一番多かったのは 13-29 歳の若者で、19,200 件であったが、発生率は 10 万人あたり 26.8 件でしかなく、最も発生率が高かったのは 30-39 歳で 10 万人あたり 42.6 件 (17,400 件) であった。

感染経路別では、発生率は示されていないが、件数で最も多かったのは MSM で 28,700 件と全体の 53% を占めた。

エイズ報告では、2003-2007 年、IDU と MSM である IDU の人々の間で減少が見られるものの、他の感染経路別ではほとんど変化がない。男性が全エイズ報告の 73% を占めており、10 万人あたりでは女性の 7.5 件に対して 21.6 件であった。人種別ではアフリカ系、ネイティブアメリカン、白人の人々の間で減少しているが、ヒスパニック系では安定的に推移、ハワイ太平洋出身者やアジア系では増加している。年齢的には 40-44 歳で最も多く 19% を占めるが、30 代と共に 40-44 歳では減少してきている。

逆に 10 代と 20 代、50 歳以上 64 歳以下では増加している。

3. カナダ (主に参考・引用資料 2 の 2007 年版参照)

新規 HIV 感染症は、1990 年後半に減少した後、2001 年からは上昇に転じ、2007 年まで 2500 件前後で推移している。80% 以上のケースが 3 つの州に集中しており、オンタリオで 44.0%、ケベックで 21.5%、ブリティッシュコロンビアで 16.3% を占めた。カナダ公衆衛生局では 2005 年に HIV に新規感染した人の数を 2300~4500 人、HIV/AIDS と共に生きる人の数を 58000 人と推計している。

新規 HIV 感染ケースに占める若者の割合は減少してきているが、高い年齢層では増加している。これは、社会規範の変化や高い年齢層の活発な性生活、HIV 啓発の減少と保健従事者や本人のリスク認知の不足、この年齢層をターゲットにした HIV 予防プログラムの不足、人口動態の変化などが関係していると考えられている。15-19 歳の若者では女性が過半数を占め、この傾向

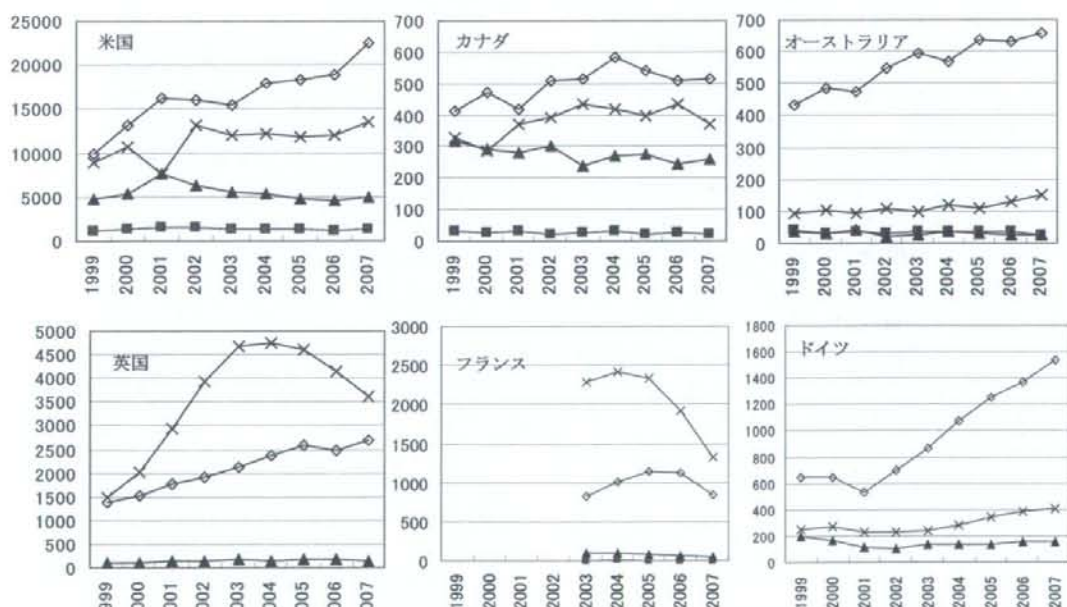


図3. HIV 感染経路別 年次推移

- ◇ 同性間の性的接触
- 同性間の性的接触+静注薬物濫用
- ▲ 静注薬物濫用
- × 異性間の性的接触

は継続している。1998年から2007年、IDUが占める割合が同年代男性の16.0%に比べて41.5%と高く、注目されている。

流行における感染経路等の分布が変化するに伴い、女性の割合が増加していることが懸念されている。1998年以前、女性は新規HIV感染ケースの11.9%を占めるのみであったが、2006年は27.9%までに増加した。しかし、2007年は再び減少に転じた。

2007年のHIV報告数においてMSMの占める割合は41.3%、異性間性的接触は29.7%であり、両者の差が縮まってきている傾向にある。2006年、2007年とMSMで変化は見られないものの、ハイリスクな性行動や薬物・アルコール乱用は継続または増加しているとされ、その原因として、抗レトロウイルス薬治療に対する油断や楽観、HIV陰性結果に基づく誤った安心、パートナーのHIVステータスについての思い違い、MSMの若い世代がエイズ流行の直接的経験がないこと、セーフ・セックスに対する生涯にわたって要求される厳格な規範と基準からの逃避欲求、リスクの高いインターネット上の出会いといった仮説が挙げられている。

一方、パートナーや性行動などについて、リスク要因または感染経路が特定できないケースが全ケースの48%もあり、問題視されている。

ここ10年来、異性間性交渉による感染のうち、流行国出身者が占める割合は増加してきていたが、2007年、減少に転じ、女性でより大きく減少した。

2007年の時点で71.2%のHIV陽性ケースに人種・民族についての情報がなかったため、代表的データとは言えないが、1985年から2007年の陽性報告で性別データの揃っているもののうち、男性では白人(70.9%)、先住民(15.0%)、ブラック・カナディアン(5.4%)の順で多かった。女性では白人(39.9%)と先住民(39.2%)がほぼ同割合で、ブラック・カナディアンは16.3%であった。

2001年以降のHIV件数増加は、同年に市民権・移民省の移民・難民保護法が改正に

15-19歳女性のケースで感染経路としてなり、渡航前の健康診断が要求された人(カナダよりも感染症が流行している地域出身者など)、輸血等を受けた人、HIV陽性の母親を持つ人などに、HIVスクリーニングが義務付けられたことの影響である可能性が指摘されている。

エイズ報告については、2003年6月30日よりケベック州のデータが入りできなくなったこと、そしてオンタリオ州の一部でエイズ・ケース・マネージメントシステムの変更が行われているために、2005年後半以降、同州の暴露情報や人種の情報が含まれなくなった。この2点により、最近のデータの解釈には注意が必要である。しかし、全体の傾向からエイズ報告数の減少は続いているといえるだろう。

カナダでも米国と同様に、流行初期の感染経路はMSMが主流であったが、その後、異性間性的接触およびIDUが増加し、女性の割合が増えてきた。2007年、成人エイズケースの57.9%に感染経路情報がなかったか不明であった。しかし、報告のあったもののうち、成人で最も大きな割合を占めたのはIDUで35.4%であった。

2000年以降、40歳以上が大部分の割合を占めるようになり、2007年ではすべての新規エイズ報告の60%を越えるまでになった。これは抗レトロウイルス薬療法による治療の効果による影響も大きいとされる。

また、55.0%(2007年)の報告において民族・人種データがないが、報告のあったケースでは66.4%が白人で先住民が14.0%、ブラック・カナディアンが8.7%であった。ブラック・カナディアンや先住民では女性の占める割合が高く、1979年から2007年の間、それぞれ35.2%と27.2%であった。同時期の白人やアジア・アラブ系、ラテン系で女性の占める割合はそれぞれ6.1%、8.2%、8.0%であった。

人種間で感染経路も異なっており、白人の54.5%がMSM間での感染であるが、先住民では12.9%、ブラック・カナディアンでは8.7%であった。IDUに関しては先住民のケースの大部分(54.5%)を占めたが、

白人では21.9%、ブラック・カナディアンでは3.1%であった。ブラック・カナディアンの大部分は異性間性交渉による感染で、そのうち流行国出身者が78.0%であった。

4. オーストラリア（主に参考・引用資料4 2008年版を参照）

新規HIV感染は増加しており、1999年の718件から2007年には1051件と、ほぼ50%増加した。2005-2007年のケースにおいて、当初29.5%が最近1年間の感染であると考えられていたのに対し、ある参照検査施設がHIVが最近の感染かどうかの検査を用いて改めて分析したところ、その割合は46.6%まで増加した。

HIV新規感染は継続してMSM間が最も多い。2003年から2007年では68%がMSMであった。最近HIVに感染したケースでは86%をMSMが占めた。これはMSMの高い検査率を反映している可能性がある。先住民と非先住民ではHIVの10万人あたり発生率は似通っている。しかし、先住民では異性間性交渉とIDUによる感染の割合が高く、他国の先住民と同傾向である。2003年から2007年、HIV、AIDS共に、10万人あたりの発生率はサブサハラアフリカ出身者がオーストラリア出身者の5倍高かった。同期間中のHIVケースの60%が本人または性的パートナーがHIV存在率の高い国出身であり、異性間性交渉による感染であった。

一方、エイズ報告は2001年から2007年の間、減少傾向にある。これは抗レトロウイルス薬治療が広く入手可能となったことによるものである。これに伴い、2007年は男女共に40-49歳の報告数が最も多くなっている。感染経路別ではMSMが依然として多く、続いて異性間性交渉による感染であった。地域別ではエイズの発生率はニューサウスウェールズで最も高く10万人あたり1.6件で、ノーザンテリトリー（1.2件）、ビクトリア（1.1件）が続いて高い。

5. 英国（主に参考資料8の2007年版と

参考・引用資料9を参照）

英国では2007年、77,400人の人々がHIVと共に生きていと推計している。10万人あたりだと127名である。うち、15-59歳（73,300人）の28%が感染に気づいていないと考えられている。近年では女性の割合が増えてきており、1997年には25%だったが2006年には37%となった。

2000年頃からHIV報告数の急激な上昇が見られ、1999年の3155件から、2007年には7,734件と2倍以上となった。異性間性交渉による感染で、特に女性での増加が急激であり、同年以降現在まで、異性間性交渉による感染が一番多くなっている。2007年はMSMの3160件に対し、異性間性交渉による感染4260件であった。異性間性交渉による感染は、2004年をピークとして減少してきている。一方MSMではHIV新規感染は増加を続けており、その82%（2580件）は英国国内での感染と考えられる。異性間性交渉による感染では77%（3300件）が外国での感染であると推定されている。うち、3分の2（2859件）がアフリカ系で、恐らく彼らの90%が外国、主にサブサハラアフリカで感染している。

この2つのグループの大きな違いのひとつが、HIV診断のタイミングである。MSMはそのほかの集団に比べて、診断の遅れ（HIV感染診断から30日以内のCD4低下およびAIDS発症）が36%と最も少なく、最も多いのは異性間性交渉による感染者で42%であった。特にアフリカ系の人々では、最近になって減少してきてはいるものの、依然として問題であるとされている。

エイズ報告数は2007年、645件で、424件が男性、221件が女性であった。

6. フランス（主に参考・引用資料12を参照）

フランスのHIVサーベイランスの歴史は浅く、2003年3月から開始されたばかりである。

2003年から2004年にHIVは増加したが、その後減少してきている。この減少は主に異性間性交渉で感染したサブサハラ

フリカ出身者のケースの減少と関連している。減少の原因として、移民流入の減少や HIV 抗体検査数の減少、移民の出身国における HIV 感染率の低下、フランス在住外国人における発生率の減少、現在の移民対策に関する政策による検査受検や治療アクセスへの影響などが考えられる。ただし、フランスへのサブサハラアフリカからの移民流入は2000年から2003年の増加したあと、2006年までは比較的大きな変化なく推移している。また、2003年から2007年の間、アフリカ出身者間でヨーロッパの主流型であるサブタイプBによる新規感染が減少していないため、フランス在住アフリカ人の HIV 感染も恐らく減少してはいない。

一方、2003年から2006年の間、MSMでの感染は増加し、2007年、増加は止まったものの、新規 HIV ケースの38%を占めた。リスクの高い性行動の増加、性感染症の増加、および他の集団に比べて急性 HIV 感染症での診断が多いことが報告されており、リスクの高い性行動の一方で、検査受検も進んでいることが伺える。

2007年の新規 HIV ケースの60%は異性間性交渉による感染であり、うち、サブサハラアフリカ国籍の人々が半数を占めた。外国籍女性の新規 HIV 件数は2003年以降、減少を続けており、ついで2005年からは外国籍男性でも減少した。

毎年、かなり多くの感染経路不明者がいるが、属性や HIV サブタイプの分析により、その多くが異性間性的接触によるものと推定されている。

この6ヶ月間に感染したかどうかを調べるウィルス学的サーベイランスが開始され、HIV 感染の発生率の推定に役立つことが期待されている。2003年のすべての新規 HIV 感染のうち、31%が最近6ヶ月に起こった感染で、2006年は4分の1であった。MSMではその割合はさらに高く41%である。

一方、エイズ報告数は1996年から1997年の抗レトロウィルス薬による治療導入による大幅な減少から現在までずっと減少し続けている。中でもMSMの減少、そして

さらに IDU の減少が目立っている。

2002年から2006年の間、「HIV 検査を受けずしてエイズの診断を受ける人」におけるエイズ報告件数が減少し、遅すぎる検査が減少していることが伺える。

2007年にエイズの診断を受けた人のうち5人に1人は診断に先立ち抗レトロウィルス薬治療を受けており、治療の失敗を疑う余地があるとされている。

7. ドイツ (主に参考・引用資料14と15を参照)

2008年末にドイツ国内で HIV と共に生きる人の数は、63,500名と推計されており、同年に新規に HIV に感染した人は3000名と推計されている。

HIV 感染報告は全般的に減少してきていたが、2002年からMSM、(HIV 流行国出身者を除く) 異性間性的接触、感染経路不明、女性の HIV 流行国出身者で増加に転じた。特にMSMではその増加速度が速く、2002年から2006年で報告数は約2倍となっている。ドイツでもMSMにおける性感染症の増加やリスクの高い性行動の増加が報告されている。年齢グループでは男性の30代で最も多く40代、20代と続くが、2002年以降、この3つの年代で急速に増加している。

エイズ患者報告は、1990年代初頭を境に減少し続けている。2006年のデータでは、女性では HIV 流行国出身者が最も多い(51%)が、感染経路不明も多く、男性で26%、女性で29%を占めている(2006年)。

8. 日本との比較

日本と上記の国々と比較した場合、年齢分布における特徴として、HIV 新規感染報告では10代20代が多いこと、エイズ新規患者報告においては50代以上が多いことが挙げられる(図4参照)。HIV 新規報告で20代の比が大きいということは、20代では HIV 感染から間もないことを鑑みても、他の年代よりも検査が進んでいる可能性がある。

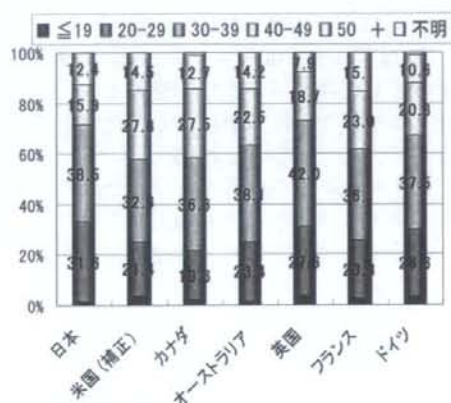


図4. HIV 年齢層別割合 (2000-2007 合計)

<性感染症データ収集状況>

1. 米国 (以下、米国についての記述は主に参考・引用資料 21 の 2007 年版を参照)

性感染症のうち、性器クラミジア、梅毒、淋菌感染症、軟性下疳について、全数報告サーベイラスが実施されている。データは各種性感染症対策プログラムと 50 州およびワシントン DC、主要都市、海外領土の保健当局から CDC 内の NCHHSTP (National Center for HIV/AIDS, Viral Hepatitis, STD and TB Prevention) の DSTDP (Division of STD Prevention) に送付された報告書から収集され、編集されている。

2. カナダ (以下、カナダについての記述は主に参考・引用資料 23 を参照)

1997 年から 2006 年の性感染症サーベイラスデータは、①州や特別地域から Public Health Agency of Canada (PHAC) に報告されたすべての性器クラミジア感染症、淋菌感染症、感染性梅毒のケース、② PHAC と州や特別地域の臨床検査機関との協働による Canadian Gonococcal Surveillance、という 2 つのデータソースから成っている。これらはケースごとの報告ではなく、合計数の報告である。

2005 年度のデータはオンタリオ州にお

ける州の報告システムの変更に伴い、過少報告となっている。よって、2005 年の減少は報告遅れの人工的な要因に基づくものである。カナダ全体のケース数や発生率も影響を受けているため注意が必要である。

3. オーストラリア (以下、オーストラリアについての記述は主に参考・引用資料 24 の 2006 年版を参照)

2006 年現在、オーストラリアにおいて全数把握対象疾患サーベイラスシステム (National notifiable diseases surveillance system: NNDSS) で報告されている性感染症は、性器クラミジア感染症、鼠径リンパ肉芽種症、淋菌感染症、梅毒である。

NNDSS は 1990 年に創設された 60 以上の感染症のサーベイラスシステムである。このスキームのもと、それぞれの管轄区域の公衆衛生法令に基づいて、医師と臨床検査機関から州や特別地域の保健当局に報告される。これらの報告は個人が特定できないような形にされてオーストラリア政府の保健・高齢者担当省に送付される。

2004 年、成人の梅毒でカテゴリー変更があり、「感染から 2 年未満の感染性 (第 1 期、第 2 期、前期潜伏期)」および「感染から 2 年以上または期間不明」という 2 つのカテゴリーに分けられた。

NNDSS 以外では淋菌感染症に関するサーベイラスである Australian Gonococcal Surveillance Programme (1981 年開始) がある。

4. 英国 (以下、英国についての記述は主に参考・引用資料 8 の 2007 年版と参考・引用資料 29 を参照)

英国では泌尿生殖器科クリニック (GUM) において全数報告が行われている。しかし少なくとも女性がかかりつけ医で診断を受けており、これらのデータの一部はかかりつけ医調査データベースなどで得ることができる。他に、性器クラミジアのスクリーニング・プログラム (現在、イングランドのみ) や梅毒の強化スクリーニング・プロ

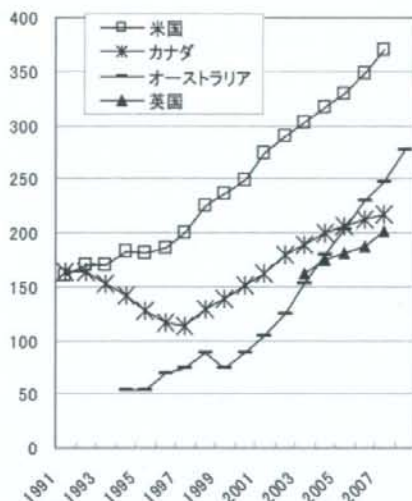


図5. 性器クラミジア感染症 年次推移
(人口10万人あたりの報告件数)

グラム、淋菌感染症の薬剤耐性サーベイランスなどがある。

<性器クラミジア感染症>

1. 米国

米国で最も多く報告されている性感染症であるが、CDCでは毎年推定約280万件の新規感染が起こっているにもかかわらず、2007年に実際に報告されているのは1,108,374件で、まだ半分以上が診断されていないと考えている。また、同年の人口10万人あたりの発生率は370.2件で、2006年度の347.8件に比べて6.4%増加しており、CDCではこの増加について、スクリーニング拡大とより感度の高い検査方法導入が影響していると考えている。

女性、特に若い女性、マイノリティーの女性に多いのが特徴である。15-19歳女性全体の発生率は3004.7件で最も高いが、さらに15-19歳アフリカ系女性では9646.7件にまで達する。アフリカ系女性全体の発生率(1906.0件)は白人女性の8倍(249.3件)、ヒスパニック女性の3倍(753.3件)を示している。2007年度における女性の報告件数ベースの人口10万人あたり発生率は男性の190.4件に対して544.8件で、約3倍高かった。この男女差についてもスク

リーニング機会の相違が多く貢献しているとしている。

2. カナダ

1990年よりクラミジア感染症の全数報告が行われており、カナダで最も多い性感染症である。2007年には71661件、10万人あたり217.3件の報告があった。1997年から2007年までに男性で155.2%(10万人あたり58.7件から149.8件)、女性で68.6%(167.8件から283.0件)、全体で90.9%(113.9件から217.3件)増加しており、男性の発生率上昇が顕著である。

若い年齢層で報告が多く、性器クラミジアケースの82.8%が30歳未満であった。特に若い女性で多く、男性の約2倍である。男女とも20-24歳で最も発生率が高く、女性で10万人あたり1605.4件、男性で779.1件であった。

1997年から2007年、60歳以上の年配男性の発生率上昇が最も大きく、410%増加している(10万人あたり1.0件から5.1件)。同年代女性は同期間で60%上昇しているもの(1.2件から1.9件)、2007年の発生率は男性の約3分の1であった。同期間で最も上昇した女性の年齢グループは30-39歳で、140.0%(81.9件から196.6件)であった。

地域別ではヌナブト準州、ノースウェスト準州、ユーコン準州という北部準州で発生率が高い。

3. オーストラリア

他の国々と同じく、最も多い性感染症で、2007年、52026件、10万人あたり248件の報告があった。1991年のサーベイランスの開始から増加し続けており、2002年から2007年では10万人あたり124件から248件と100%増加している。

男性の10万人あたり発生率は200件、女性は294件で女性の方が多い。年齢別に見ると、29歳以下では女性のほうが高い発生率を示すが、30歳以上では男性の方が高い。男女共に20-24歳で最も発生率が高く、男性で10万人あたり991件、女性で1614件であった。さらに、1997年と2007年を

比較すると、高い年齢層の男性がより大きく増加しており、最も大きく増加したのは65-69歳の男性で、671.4%の増加(1.4件から10.8件)であった。

2006年、性器クラミジア感染症報告の43%で先住民か否かのデータが揃っていたが、それらの報告によると、先住民の年齢調整済発生率は10万人あたり1250件、非先住民では223件で、先住民は非先住民の5.6倍多い。

4. 英国

英国では尖圭コンジローマと並んで最も多い性感染症で、2007年度は121,986件報告されており、GUMクリニックの新規性感染症ケースのうち30%を占めている。しかし、女性ではかかりつけ医(General practice)で診断されるケースも多く、イングランドとウェールズでは女性の29%、スコットランドでは女性の67%がかかりつけ医からの報告であった。なお、イングランドにおいて2003年より25歳未満の若者に対するスクリーニング・プログラム(National Chlamydia Screening Programme: NCSP)が広く実施されており、北アイルランドでも実施準備が進められているが、その他の地域では散発的な実施にとどまっている。

女性では16-19歳(10万人あたり1423件)、男性では20-24歳(10万人あたり1183件)で高い発生率を示しており、UK全体での存在率は2-6%と推定されている。

1997年から2007年の間、GUMクリニックからの報告では、42,668件から113,585件まで増加しており、やはり16-24歳で大きな上昇を記録している。この増加について、検査とスクリーニング機会の増加、核酸増幅法(NAAT: Nucleic Acid Amplification Test)の導入による検査技術の改善、性行動の変化の複合要因によると考えられえいる。

英国内で流行が広がっているが、検査率と特に関連しており、ロンドン(10万人あたり275件)やノースウェスト(232件)で高く、北アイルランド(115件)やヨー

クシャーとハンパー(126件)で低かった。

2006年後半、スウェーデンで報告された変異株であるが、イングランドとウェールズでは発見されておらず、スコットランドで2008年8月に1件発見されたのみである。ヨーロッパ全体でもスウェーデンの国外にはあまり広がっていない。

<淋菌感染症>

1. 米国

1975年から1997年までに人口10万人あたりの発生率は74%減少したが、その後は高いレベルのまま推移し、あまり変化していない。2007年は355,991件、10万人あたり118.9件の報告であったが、男性(10万人あたり113.9件)よりも女性(10万人あたり123.8件)のほうが若干高かった。しかし、相当なケースが未診断であると考えられており、毎年新規感染は報告の2倍であると推定されている。

男女差がない一方で地域差が大きく、南部の州の発生率は高水準で推移しているが、北部の州では減少している。最近、西部の州において2003年から2007年の間に17%増加しており注目されている。また、人種間の差も大きく、アフリカ系の人々の発生率は白人の19倍であった(10万人あたり662.9件対34.7件)。

近年他の先進諸国同様、薬剤耐性が大きな問題で、モニタリング・プロジェクトが実施されている。広範囲のfluoroquinolone耐性が観察されたため、2007年4月、治療ガイドラインが改訂された。

2. カナダ

1924年から全国で全数報告が開始されている。2007年は11,520件、人口10万人あたり34.9件の報告があった。1997年以降、淋菌感染症の発生率は上昇を続けており、女性よりも男性で上昇が大きい。1997年から2006年では、男性で140.4%増加し(17.8件から42.3件)、女性で126.7%増加(12.0件から27.2件)した。2007年、男性は減少に転じたが(42.3件から41.3件)、女性はそのまま微増(27.2件から28.6

件)となった。男女比は2006年、1.5:1.0であったが、これは男性のほうが症状が出やすく受診につながりやすいためであると考えられる。しかし、州ごとに異なった傾向があり、最も比が大きいのはケベック州の2.5:1.0であるが、ユーコン準州では男女が逆転し、1.0:1.8である。

報告の大部分を若い層が占めており、2006年は65%が30歳未満であった。女性では15-19歳で最も発生率が高く(10万人あたり143.8件)、男性では20-24歳が最も高かった(141.1件)。

1997年から2006年の間、すべての年齢層で上昇しているが、60歳以上の男性での発生率の上昇が顕著で、10万人あたり386.0%の増加(1.1件から5.2件)を示し、続いて40-59歳の女性が335.8%の増加(1.1件から4.7件)を示した。

大部分は人口が多い州で発生しているにもかかわらず、発生率では北部準州が最も高い。

薬剤耐性が2003年から急速に増加しており、問題となっている。

3. オーストラリア

2007年、7674件の報告があり、10万人あたり36.5件の発生率であった。男性(10万人あたり48.7件)は女性(24.4件)の2倍であるが、これはオーストラリアの大都市で生じているMSM間の感染が影響している。ただし、ノーザンテリトリーのみ傾向が異なり、男性よりも女性の発生率のほうが高い(929件対796件、2006年)。

2007年、男性で発生率が一番高いのは20-24歳(10万人あたり142.2件)で、女性では15-19歳(111.9件)であった。1997年と2007年を比較すると、最も増加したのは男性で55-59歳(10万人あたり3.2件から15.8件)、女性では50-54歳(0.9件から2.7件)、と高い年齢層での増加が目立った。

2006年、淋菌感染症ケースで、先住民か否かのデータが揃っていたのは68%であった。それらの2006年の年齢調整発生率は、先住民で1206.1件、非先住民では

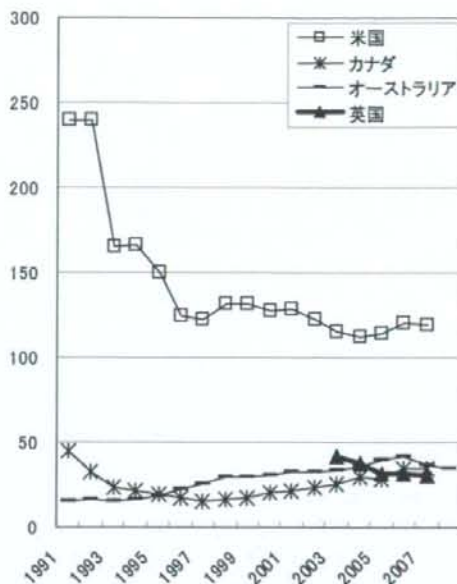


図6. 淋菌感染症 年次推移
(人口10万人あたりの報告件数)

24.1件で、先住民は非先住民の比は50対1となった。

オーストラリアでも薬剤耐性が問題になっており、別のサーベイランスでモニタリングされている。しかし、状況は地域によって異なっているため、現地のそれぞれのパターンにレジメンを合わせる必要がある。

4. 英国

1960年代、70年代を通して高い水準で推移してきていたが、1980年代後半からHIV啓発キャンペーン浸透に伴う性行動の変化により、急速に減少し始めた。ところが1997年からは増加し、再び2002年をピークに徐々に減少を始め、2005年あたりからは停滞している。現在、流行は若者、そしてアフリカ系とMSMの人々に集中し、特にMSM間では報告件数が増加している。2006年度、英国のGUMクリニックで淋菌感染症と診断される男性の3分の1(4,524/13,627)がMSMであり、スコットランドでは半分以上(379/717)がMSMであった。また、同年の淋菌感染症薬剤耐性サーベイランスデータでは、ヘテロセクシュアルの男性患者の44%、女性患者の

34%がアフリカ・カリブ系の人々であり、その他の研究からも一部地域では白人の10倍高い発生率であると推測されている。一方、ヘテロセクシュアルの人々の間では報告件数が減少し続けており、検査機会の増加およびGUMにおける患者とパートナーマネージメントの改善が役に立っていると考えられている。

2007年、人口10万人あたりの発生率が最も高かったのは女性の16-19歳（10万人あたり137件）と、男性の20-24歳（174件）であった。女性患者の40%が10代であったが、再感染率が最も高いのも10代女性であった。

地理的には発生率が高いポピュレーションが多い大都市で報告が集中している。ロンドンで最も発生率が高く（2007年、男女それぞれ10万人あたり157件、50件）、ノースウェスト（同、62件、26件）が続く。最も低いのは北アイルランド（同、19件、3.6件）であった。

イングランドとウェールズでは近年減少してきているが、スコットランドと北アイルランドで上昇しており、この10年間で人口10万人あたりの発生率が倍以上になっていることから、スコットランドでは比較的MSMの感染割合が高いことを反映していると考えられている。

英国でも薬剤耐性が問題になっており、イングランドとウェールズではGonococcal Resistance to Antimicrobials Surveillance Programme (GRASP) が実施されており、スコットランドではScottish Neisseria gonorrhoeae Reference Laboratory (SNGRL) がサーベイランスを実施している。特にciprofloxacin耐性がMSM間で急速に広がっているが、ごく最近ではアフリカ・カリブ系の人々の間でも広がっていることが示唆されている。

<梅毒>

1. 米国

米国では梅毒は第1期と第2期という最も感染しやすいステージが報告対象となっ

ている。1990年代は一貫して減少し続け、2000年には史上最低を記録した。しかし、その後は上昇を続け、2006年から2007年は報告件数が9,756件から11,466件に増加、人口10万人あたりの発生率では3.3件から3.8件と15.2%増加した。10年前には男女ほぼ同数であったが、最近はどうぞん男女の差が広がり、2007年では約6倍男性のほうが多くなっている。

このように特に男性での増加が観察されたため、CDCでは2005年からパートナーのジェンダーの情報を集め始め、2007年度（44州とワシントンDCのデータ）ではすべての梅毒ケースの65%がMSMであった。一方、2001年から2004年にかけて減少していた女性のケースが増加に転じ、特にアフリカ系の女性で増加が目立った。2006年から2007年にかけてのアフリカ系女性での発生率は14.3%増加（10万人あたり4.9件から5.6件）しており、白人女性の14倍である。ちなみに同期間のアフリカ系男性での発生率は、28.2%の増加（10万人あたり18.1件から23.2件）であった。

2. カナダ

1924年から全国で全数報告が開始されている。第1期、第2期、前期潜伏期が報告対象ステージである。

感染性梅毒の報告件数は2002年、2003年と急激に増加し、2006年をピークとして、2007年は徐々に減少に転じた。2007年は1,175件、人口10万人あたり3.6件の発生率であった。以前より男性のほうが多く報告されており、2007年の報告件数のうち86.8%が男性であった（1020件/1175件中）。

1997年から2007年では10万人あたりの発生率は全体で700.0%の増加（0.4件から3.6件）で、男女共に増加している。しかし、男性での増加が著しく1450.0%の増加（0.4件から6.2件）で、女性では200.0%の増加（0.3件から0.9件）であった。

男性では主にMSMにおける流行であり、異性間性交渉による感染ではセックスワークに関連しているとされる。MSMで

の増加の原因として、いくつかの研究でリスクの高い性行動が増加していることが示された。インターネットやサウナでの不特定の相手、エクスタシーなどドラッグの使用増加、オーラルセックスによる梅毒感染が周知されていないこと、「セーフ・セックス疲れ」「コンドーム疲れ」と呼ばれるセーフ・セックスやコンドーム使用に対する反動的行動、啓発メッセージへの感心のなさなどが影響していると考えられている。

梅毒では他の性感染症とは異なり、比較的高い年齢層が多い。2007年、男性で最も高い発生率であったのは30-39歳男性で、10万人あたり13.3件であり、女性で最も高い発生率を示したのは25-29歳で、10万人あたり2.9件であった。1997年と2007年を比較すると、60歳以上男性で一番増加しており、3100.0%の増加(0.05件から1.6件)であった。

大部分の報告はカナダの最も人口の多い州に集中しており、2006年に発生率が最も高かったのはブリティッシュコロンビアであった。しかし1997年から2006年で最も増加が著しかったのはケベックの男性で、9500%の増加(10万人あたり0.1件から9.6件)であった。

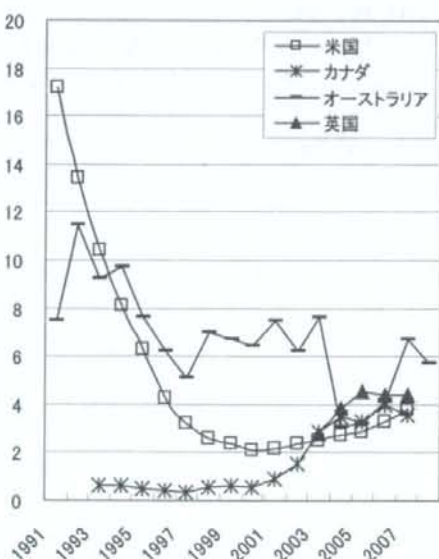


図7. 感染性梅毒 年次推移
(人口10万人あたりの報告件数)

3. オーストラリア

2007年は1,399件、人口10万人あたり6.7件の報告があった。男性の10万人あたり発生率は11.8件、女性では1.6件と、ノーザンテリトリーを除くすべての行政管轄区で男性のほうが発生率は高かった。

男性では2006年から2007年にかけて急増しており(10万人あたり6.4件から11.8件)、これは主にシドニー周辺地域MSM間での流行、特にシドニー南東部&イラワラ地区での流行(年齢調整発生率は10万人あたり13.1件)によるものであると説明されている。

さらに年齢別で見ると、男性では35-39歳が最も高く(10万人あたり28.8件)、女性では15-19歳で最も高かった(5.3件)。2004年から2007年で最も大きく増加したのは、男性では60-64歳で660%の増加(10万人あたり0.5件から3.8件)、女性では35-39歳で175%の増加(0.8件から2.2件)であった。

先住民かどうかのデータが揃っていたのは、2年未満の梅毒ケースの95%で、年齢調整発生率は先住民で10万人あたり47.9件、非先住民で3.1件と、約15倍の開きがあった。

4. 英国

英国では基本的に第1期、第2期が感染性梅毒として扱われているが、時折、前期潜伏期を含むことがあり、注意が必要である。

1980年代初頭から半ばにかけて、HIV/AIDSキャンペーンによる性行動の変化によって、報告件数の急激な減少が起こった。しかし、1998年以降、急速に増加し、2007年までに162件から2766件となった。特に男性での急増が目立ち、MSMでは64倍、ヘテロセクシュアル男性で14倍増加した。MSMでは1998年には男性ケース90件のうち26%(23件)を占めていただけであったが、2007年には61%(2,395件中1,463件)を占めるまでになり、MSMでの増加が際立っている。多くはロンドンやノースウェストなど大都市でのMSM間

の流行によるものである。また、ロンドンの MSM では感染性梅毒ケースの 43% (2001-2008 年) が HIV に同時感染していた。

イングランドとウェールズの GUM クリニックで実施されている National Enhanced Syphilis Surveillance (2006 年) によると、人種の分布は性的指向によって異なり、MSM では 89% (1,146 件/1,285 件) が白人で、3.5% (194 件/1,285 件) でアフリカ・カリブ系であったのに対し、ヘテロ男性では 56% (194 件/346 件) が白人で、21% (74 件/346 件) がアフリカ・カリブ系であった。

他の性感染症とは異なり、感染性梅毒は年齢が高い傾向にあり、地域によって異なるものの、全体で最も高い発生率は 35-44 歳男性 (10 万人あたり 18.3 件) で、女性では 20-24 歳 (3.5 件) である。男性は 1998 年より発生率は急上昇しており、45 歳以上で 43 倍、20-24 歳で 34 倍、35-44 歳で 33 倍となっている。女性はもう少し増加が緩やかで、16-19 歳で 15 倍、35-44 歳で 9 倍であった。

<その他性感染症：英国>

1. 尖圭コンジローム

ここ 10 年間は流行が継続しており、クラミジアと並んで多い性感染症で、2006 年には GUM クリニックにおける新規性感染症ケースのうちの 22% を占めた。ほとんどのヒトパピローマウィルス (HPV) 感染は異性間性交渉で感染しているが、2006 年の MSM のケースは全体の 3% にもかかわらず、この 10 年で 64% 増加している。

2007 年、男性では 20-24 歳 (10 万人あたり 815 件) で最も高く、女性では 16-19 歳 (830 件)、続いて 20-24 歳 (729 件) で高かった。

ヒトパピローマウィルスに対するワクチンプログラムが 2008 年より実施されている。12 歳女児を対象にしていて、13-18 歳で追加接種される。使用ワクチンは子宮頸がんの原因のひとつとされる HPV16, 18 型のみにも効果のあるものである。

2. 性器ヘルペス

GUM クリニックからの報告はここ十年増加を続けており、2006 年、初発の性器ヘルペスでは男性よりも女性のほうが 50% 高い発生率であった。また、ほとんどが異性間性交渉による感染であり、MSM は 7.2% (604 件/8,392 件) を占めるのみであった。

2007 年は男女共に 20-24 歳で最も高い発生率 (10 万人あたりそれぞれ 122 件、242 件) で、女性では 16-19 歳、男性では 25-34 歳が続く。16-19 歳、20-24 歳女性では、2005 年から 2007 年の間に発生率が急上昇している。地域ではイングランドとスコットランドで、2006 年から 2007 年に急上昇しており、イングランドでは 2007 年最高記録 (男性 36 人 / 100,000 人あたり、女性 56 人/100,000 人あたり) であったが、これはロンドンでの発生率上昇の影響を受けていると考えられる。

F まとめと考察

<HIV/AIDS の動向>

日本の HIV 流行に影響を与える要因として、代表的な先進国の HIV/AIDS に関する疫学情報を収集した。

近年、MSM の再燃や移民を中心とした異性間性的接触による感染増加など全体的に HIV 感染が増加している一方、多剤併用療法の普及に伴い新規エイズ患者が減少していた。そのため、各国で HIV と共に生きる人々が大幅に増加してきている。MSM では性行動調査等よりリスクの高い性行動が増加しており、性感染症も増加していると報告されていることが多かった。しかしながら、移民の場合、どこで感染したのが明確でないことも多く、移住後の感染も少なくない可能性がある。また、HIV 感染の診断の遅れも指摘されており、その社会的脆弱性に注意を払う必要がある。特に移民女性においてその脆弱性は一層顕著である。英国やフランスはサブサハラアフリカの旧植民地からの移民が多いため移民流入の影響が大きく、逆にドイツでは比較的小さかった。移民の動向は、政治や言葉、歴史などが影響して複雑であるので、その背

景の理解も必要である。それを表すように、2006年、2007年ごろからはフランスや英国で移民を中心に異性間性交渉による感染の減少が観察されるようになってきた。移民政策の影響によるものか、アフリカを中心とした国々での感染率の低下によるものなのか、原因はまだ定かではないが、それぞれの国での影響は非常に甚大であるため、続けてモニタリングしておく必要がある。

アメリカを中心として最近、多くの国でHIV感染が直近5・6ヶ月のものかどうかを調べる分析方法 STARHS が導入されており、今までわからなかった様々なことがわかるようになってきている。たとえば、米国ではその結果に基づき発生率(Incidence)を推定することができるようになった。他にも多くの動向が明らかになる可能性もあり、今後、各国で導入が拡大してゆくであろう。

最近、話題になっているのが50代以上の高い年齢層の人々における感染報告の増加である。性感染症も増加していることから、性行動が変化してきている可能性が高いが、この年齢層を対象にした調査は少ない。異性間性交渉による感染と合わせて、今後の動向に注目しておく必要があるだろう。

<性感染症の動向>

日本の HIV 流行に影響を与える要因として、代表的な先進国で、かつ、性器クラミジア、淋菌感染症、感染性梅毒のデータが揃う国の性感染症疫学情報を収集した。

一般的に各国で性感染症は増加してきているが、疾患ごとに特徴は様々である。性器クラミジアや淋菌感染症では若者で多く、増加も顕著であるが、梅毒では比較的高い年齢層で多い。近年は50歳以上という高い年齢層での増加が目されており、理由としてはED治療薬の普及やインターネットによる出会いの増加と社会規範の変化、リスク認知の低さ、海外旅行の増加、この年代にむけた予防啓発プログラムの欠如などが挙げられている。

性感染症報告の近年の増加について、真

に多く発生するようになったというよりも、検査の拡大やより感度の高い検査方法の導入、性行動の変化などの複合要因であると考えられている。

梅毒はMSMでの増加が顕著である一方で、性器クラミジアなどによる影響はそれほど強くない。しかし、アフリカ系やカリブ系、先住民の人々など人種・民族的マイノリティーの人々では、すべての疾患において非常に大きな影響を受けている。

性器クラミジアは目立った症状がないことも多いにもかかわらず、深刻な健康への影響があることから、若者向けのスクリーニング・プログラムを実施する国も少なくない。特に英国では薬局や郵便サービスなども動員して検査を促進している。

ヒトパピローマウィルスに対するワクチンが開発されたことにより、12歳～13歳ごろの少女を対象としたワクチンプログラムを実施する国が増えてきた。また、子宮頸がんに対するスクリーニングも多く実施されている。

淋菌感染症では世界各国で薬剤耐性菌が問題となっているため、サーベイランスでモニタリングされており、治療ガイドラインの改訂などに生かされている。

スウェーデンで発見され話題となったクラミジア・トラコマティス変異株は、スウェーデン国外で発見されることが少なく、局所流行に留まっている様子である。

それぞれの社会状況を反映して、日本と動向が似通っている部分とかなり異なる部分があるが、日本の対策を考えてゆく上で、各国の社会状況と性感染症流行の動向および対策の動向を併せて分析してゆくことは重要である。

【参考・引用資料】

HIV/AIDS

【米国】

1. Centers for Disease Control and Prevention (CDC). HIV/AIDS Surveillance Report 1982 ~ 2007.

<http://www.cdc.gov/hiv/topics/surveillance/resources/reports/past.htm#surveillance>

e (Last accessed: March 15, 2009)

【カナダ】

2. Public Health Agency of Canada. HIV and AIDS in Canada. Surveillance Report to December 31, 1999 - December 31, 2007

<http://www.phac-aspc.gc.ca/aids-sida/publication/index.html#surveillance>

(Last accessed: January 27, 2009)

3. Public Health Agency of Canada. HIV/AIDS Epi Updates, 2003-2007

<http://www.phac-aspc.gc.ca/aids-sida/publication/index-eng.php#er>

(Last accessed: January 27, 2009)

【オーストラリア】

4. National Centre in HIV Epidemiology and Clinical Research. HIV/AIDS, Viral hepatitis and sexually transmissible infections in Australia: Annual surveillance Report 1997-2008

<http://www.nchec.unsw.edu.au/NCHEC/Rweb.nsf/page/Annual+Surveillance+Reports> (Last accessed: January 27, 2009)

5. 上記 3. の報告書のデータセット (HIV Public Access Dataset と AIDS Public Access Dataset)

<http://www.nchec.unsw.edu.au/NCHEC/Rweb.nsf/page/Annual%20Surveillance%20Reports> (Last accessed: Mar 10, 2009)

【英国】

6. Health Protection Agency Centre for Infection and Health Protection Scotland. Unpublished Quarterly Surveillance Tables (HIV New Diagnoses Surveillance Tables)

- June 2008: No.78:08/1

http://www.hpa.org.uk/web/HPAwebFile/HPAweb_C/1224574905324

(Last accessed: January 27, 2009)

- December 2007: No 77: 07/4
HPA へ要問い合わせ (2009年1月27日現在、ウェブサイトよりアクセス不可能)
- June 2007: No. 76: 07/2

HPA へ要問い合わせ (2008年3月28日現在、ウェブサイトよりアクセス不可能)

- June 2004: No.63: 04/2

HPA へ要問い合わせ (2009年1月27日現在、ウェブサイトよりアクセス不可能)

- June 2003: No.59: 03/2

HPA へ要問い合わせ (2009年1月27日現在、ウェブサイトよりアクセス不可能)

7. Health Protection Agency. HIV and AIDS New Diagnoses Database

以下の URL よりダウンロードした申請書によりデータ入手

http://www.hpa.org.uk/web/HPAwebFile/HPAweb_C/1204276681340

(Last accessed: January 24, 2009)

8. The UK Collaborative Group for HIV and STI Surveillance. HIV and other Sexually Transmitted Infections in the United Kingdom.

- 2006年 「A Complex Picture」

http://www.hpa.org.uk/publications/2006/hiv_sti_2006/pdf/a_complex_Picture_2006_last.pdf (Last accessed: March 12, 2009)

- 2007年 「Testing Times」

http://www.hpa.org.uk/infections/topics_az/hiv_and_sti/publications/AnnualReport/2007/default.htm (Last accessed: March 12, 2009)

9. Health Protection Agency, HIV and sexually transmitted infections department, Centre for infections. HIV in the United Kingdom: 2008 Report

http://www.hpa.org.uk/web/HPAwebFile/HPAweb_C/1227515298354

(Last accessed: January 27, 2009)

【フランス】

10. Institut de Veille Sanitaire (InVS). Lutte contre le VIH/SIDA et les infections sexuellement transmissibles en France : 10 ans de

surveillance, 1996-2005.
http://www.invs.sante.fr/publications/2007/10ans_vih/rapport_vih_sida_10ans.pdf
(Last accessed: March 27, 2008)

11. InVS ウェブサイト上の HIV/AIDS データベース

- Base de données VIH: Données issues de la déclaration obligatoire du VIH depuis 2003 jusqu'au 31 décembre 2007

http://www.invs.sante.fr/display/?doc=surveillance/vih-sida/BDD_vih/index.htm
(Last accessed: March 12, 2009)

- Base de données SIDA: Données issues de la notification obligatoire du sida depuis 1982 jusqu'au 31/12/2007

http://www.invs.sante.fr/display/?doc=surveillance/vih-sida/BDD_sida/index.htm
(Last accessed: March 12, 2009)

12. Institut de Veille Sanitaire (InVS). Bulletin épidémiologique hebdomadaire no.45-46: Numéro thématique L'infection à VIH-sida en France.

http://www.invs.sante.fr/beh/2008/45_46/beh_45_46_2008.pdf (Last accessed: March 12, 2009)

【ドイツ】

13. Federal Health Monitoring のウェブサイト上の HIV/AIDS データ

- HIV-positive laboratory cases reported: Table (ad hoc)
- AIDS, New Cases: Table (ad hoc)

http://www.gbe-bund.de/gbe10/trecherche.prc.them.rech?tk=8500&tk2=13400&p_uid=gast&p_aid=42891387&p_sprache=E&cnt_ut=8&ut=13500 (Last accessed: March 12, 2009)

14. Ulrich Marcus and Anne Starker. Federal Health Reporting: HIV and AIDS. Robert Koch Institute. 2006.

http://www.rki.de/nn_216470/EN/Content/Health_Reporting/GBEDownloadsT/hiv_aids.templateId=raw.property=public

[ationFile.pdf/hiv_aids.pdf](#) (Last accessed: March 12, 2009)

15. Robert Koch-Instituts のウェブサイト 記事: Welt-AIDS-Tag 2008: Stabilisierung der Zahl der HIV-Infektionen

http://www.rki.de/cln_100/nn_196014/DE/Content/Service/Presse/Pressemitteilung/2008/24_2008.html (Last accessed: March 12, 2009)

【欧州全体】

16. HIV/AIDS Surveillance in Europe No.25(1993)~ No.76 (2007)

http://www.eurohiv.org/reports/index_reports_eng.htm (Last accessed: March 12, 2009)

17. WHO Regional Office for Europe Centralized Information System for Infectious Diseases (CISID) ウェブサイト上の HIV/AIDS データベース

<http://data.euro.who.int/cisid/?TabID=157646> (Last accessed: March 12, 2009)

18. European Centre for Disease Prevention and Control/WHO Regional Office for Europe: HIV/AIDS Surveillance in Europe 2007.

http://ecdc.europa.eu/en/files/pdf/Publications/20090122_Annual_HIV_Report.pdf (Last accessed: March 12, 2009)

【OECD】

19. OECD HEALTH DATA 2008 (有料)
<http://www.ecosante.org/index2.php?base=OCDE&langh=ENG&langs=ENG&sessionid=> (Last accessed: March 12, 2009)

【日本】

20. エイズ動向委員会報告. 平成 19 年エイズ発生動向年報.

http://api.net.jfap.or.jp/mhw/survey/07nenpo/nenpo_menu.htm (Last accessed: March 12, 2009)

性感染症

【米国】

21. Centers for Disease Control and

Prevention (CDC). Sexually Transmitted Disease Surveillance: Annual report of statistics and trends for sexually transmitted diseases in the United States (1993-2007)
<http://www.cdc.gov/std/stats/default.htm>
(Last accessed March 12, 2009)

【カナダ】

22. Public Health Agency of Canada. STI Data Tables, Reported cases and rates by age group and sex to 2007
http://www.phac.aspc.gc.ca/std-mts/sti-its_tab/index-eng.php (Last accessed March 12, 2009)

23. Public Health Agency of Canada. Brief Report on Sexually Transmitted Infections in Canada: 2006
<http://www.phac.aspc.gc.ca/publicat/2008/sti-its/index-eng.php>
(Last accessed: January 27, 2009)

【オーストラリア】

24. Australian government. Department of Health and Ageing. Australia's notifiable diseases status, 2006: Annual report of the National Notifiable Diseases Surveillance System: 1994-2006
<http://www.health.gov.au/internet/main/publishing.nsf/Content/cda-pubs-annlrpt-nndssar.htm> (Last accessed March 12, 2009)

25. Australian government. Department of Health and Ageing ウェブサイト上のデータベース National Notifiable Diseases Surveillance System

- Notifications of SELECTED DISEASE by Age Group and Sex より 1993～2008年のデータ

http://www9.health.gov.au/cda/source/Rpt5_sel.cfm (Last accessed March 12, 2009)

26. Department of Health, New South Wales Government. Commentary: Infectious Syphilis notifications by month and sex 1998 to 2007 and by

Health Area 2005 to 2007 combined, NSW.

http://www.health.nsw.gov.au/publichealth/chorep/com/com_syphilisnot_ahs.asp
(Last accessed: Mar 10, 2009)

【英国】(参考・引用資料 8 も参照)

27. Health Protection Agency. Selected STI diagnoses made at GUM clinics in the UK: 1998 - 2007
<http://www.hpa.org.uk/web/HPAweb&HPAwebStandard/Page/1203348026884> (Last accessed March 12, 2009)

28. Health Protection Agency. Selected STI diagnoses and diagnosis rates from GUM clinics in the UK: 2003 - 2007
<http://www.hpa.org.uk/web/HPAweb&HPAwebStandard/Page/1203348026884>
(Last accessed March 12, 2009)

29. Health Protection Agency. Continued increase in sexually transmitted infections: An analysis of data from UK genitourinary medicine clinics up to 2007
http://www.hpa.org.uk/web/HPAwebFile/HPAweb_C/1216022446179 (Last accessed March 12, 2009)

【欧州全体】(参考・引用資料 16 も参照)

30. European surveillance of sexually transmitted infections. Sexually transmitted infections surveillance in Europe: Annual report No.1・No.3
<http://www.essti.org/publications.php>
(Last accessed March 12, 2009)

D. 発表

□頭発表

1. 森重裕子. 「HIV 流行関連情報の集約的分析に関する研究: 先進国の状況について」 HIV 感染症の動向と影響及び政策のモニタリングに関する研究班 平成 20 年度班総会. 2009 年 3 月 10 日. 京都.

表1.HIV/AIDS報告数とHIV/AIDS比 年次推移(1)

国名	報告年	性別	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	
			米国 (報告年ごと)	HIV (not AIDS)	男性														11,177
女性																3,870	4,637	4,195	
<13 (性別不明)																		489	342
不明・その他																	266	4	4
合計																	15,313	18,602	15,210
AIDS	報告州数															26州	27州	28州	
	男性					2,660	7,166	14,618	12,089	19,509	28,654	31,282	38,094	39,471	40,886	69,349	65,484	59,671	
	女性					203	533	1,130	1,008	1,846	3,542	3,948	5,258	6,053	6,686	17,269	14,412	14,096	
	不明・その他					1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	合計					3,064	7,699	15,948	13,097	21,355	32,196	35,230	43,352	45,524	47,572	106,618	79,897	73,767	
合計	男性															100,526	76,756	70,340	
	女性															21,139	19,249	18,291	
	不明・その他														266	5	4		
	合計														121,931	96,499	88,977		
	HIV/AIDS比															0.13	0.20	0.18	
															0.22	0.34	0.30		
															0.14	0.23	0.21		
米国 (補正済) (診断年ごと)	HIV/AIDS	男性																	
		女性																	
		13歳未満																	
		州合計																	
		準州合計																	
	HIV/AIDS 各年報告書 ごとの合計 人数の実数	男性																	
		女性																	
		13歳未満																	
		州合計																	
		準州合計																	
	AIDS	男性																	
		女性																	
13歳未満																			
州合計																			
準州合計																			
合計	男性																		
	女性																		
	13歳未満																		
	州合計																		
	準州合計																		
HIV/AIDS比	男性																		
	女性																		
	不明・その他																		
	合計																		
カナダ	HIV	男性																2,189	
		女性																529	
		不明・その他																296	
		合計																2,983	
		AIDS											1,353	1,453	1,804	1,641	1,632	1,491	
	合計	男性											69	103	120	125	150	146	
		女性											0	0	0	2	1	0	
		不明・その他																	
		合計											1,422	1,556	1,724	1,766	1,783	1,637	
		HIV/AIDS比																	3,680
																		674	
																		266	
																	4,620		
																	1,47		
																	3,62		
																	1,82		
オーストラリア	HIV	男性	1	1		13	428	1,615	1,699	2,184	1,600	1,557	1,333	1,331	1,115	970	923	846	
		女性					14	86	65	74	72	66	82	77	86	66	85	71	
		不明・その他					0	7	40	52	49	16	22	38	21	9	14	8	4
		合計					13	449	1,941	1,816	2,307	1,688	1,645	1,453	1,429	1,210	1,056	1,016	923
		AIDS	1	1															
	合計	男性			1	6	46	117	227	369	521	604	652	776	751	802	905	781	
		女性				1	12	7	15	15	13	17	25	37	40	46	36		
		不明・その他									1	2	2	4	2	5	4	3	
		合計			1	6	47	129	234	384	537	619	671	805	790	847	955	820	
		HIV/AIDS比	1	2	1	19	474	1,932	1,926	2,553	2,121	2,161	1,965	2,107	1,866	1,778	1,828	1,629	
	合計	男性																	
		女性																	
不明・その他																			
合計				1	2	1	19	496	2,070	2,050	2,691	2,225	2,264	2,124	2,234	2,000	1,903	1,971	1,743
HIV/AIDS比				1.00	0.00	2.17	9.30	15.51	7.46	5.92	3.07	2.56	2.04	1.72	1.48	1.22	1.02	1.09	

表1.HIV/AIDS報告数とHIV/AIDS比 年次推移(2)

			年次													備考
			1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007		
米国 (報告数) (報告年ごと)	HIV (net AIDS)	男性	9,570	9,894	13,178	14,444	14,813	24,181	23,876	23,085	23,463	24,940	35,537	39,353	48,555	
		女性	3,963	4,362	6,213	6,973	8,887	11,394	11,271	10,238	10,100	10,557	13,525	14,571		
		<13 (性別不明)	268	268												
		不明-その他	2	1	2	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	
		合計	13,771	14,818	19,383	21,419	23,704	35,578	35,147	33,201	33,563	35,527	38,465	52,878	63,230	
	AIDS	男性	54,711	47,372	37,078	35,482	31,588	31,994	32,585	33,370	32,817	31,005	28,410	28,359		
		女性	14,077	13,222	11,190	10,918	10,588	11,164	11,385	11,843	11,820	10,988	10,591	10,025		
		不明-その他	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0		
		合計	88,808	80,634	48,269	46,400	42,156	43,158	43,950	44,963	44,727	41,993	39,002	38,384		
		合計	64,231	57,206	50,254	49,926	46,401	58,175	56,461	56,385	56,200	55,945	67,763	77,019		
HIV/AIDS比	男性	0.17	0.21	0.36	0.41	0.47	0.76	0.73	0.68	0.71	0.80	1.39	1.72			
	女性	0.28	0.33	0.56	0.64	0.65	1.02	0.99	0.88	0.85	0.96	1.28	1.45			
	不明-その他															
	合計	0.20	0.24	0.40	0.48	0.51	0.82	0.80	0.74	0.75	0.85	1.35	1.85			
米国 (修正済) (修正年ごと)	HIV/AIDS 各年報告数 ごとの合計 人数の実数	男性				17,493	22,064	27,635	26,329	24,888	26,814	26,873	27,182	31,518		
		女性				7,491	8,899	11,941	10,849	9,892	10,135	9,775	9,842	10,977		
		13歳未満				187	187	268	294	213	214	192	170	199		
		州合計				25,174	31,104	39,844	37,472	34,735	37,184	36,840	37,193	42,855		
		州合計 上に含む				25,174	31,104	39,844	37,472	34,735	37,184	36,840	37,193	42,855		
	AIDS 各年報告数 ごとの合計 人数の実数	男性				25,174	31,161	40,507	37,528	36,102	38,358	38,032	38,531	44,084	2007年報告書 34州+5準州 2006年報告書 33州+5準州 2005年報告書 33州+4準州 2004年報告書 33州+2準州 2003年報告書 32州+1準州 2002年報告書 29州+1準州	
		女性				11,861	12,022	11,888	11,888	11,888	11,888	11,888	11,888	11,888		
		13歳未満				187	187	268	294	213	214	192	170	199		
		州合計				37,035	43,183	52,315	49,412	47,245	50,246	50,020	50,419	58,973		
		州合計 上に含む				37,035	43,183	52,315	49,412	47,245	50,246	50,020	50,419	58,973		
HIV/AIDS比	男性				0.55	0.78	1.19	1.09	0.95	1.01	1.02	1.04	1.26			
	女性				0.28	0.33	0.56	0.64	0.65	0.88	0.85	0.96	1.15			
	不明-その他															
	合計				0.61	0.78	1.02	0.96	0.90	0.99	1.02	1.05	1.18			
カナダ	HIV	男性	1,888	1,944	1,755	1,846	1,566	1,636	1,816	1,830	1,643	1,642	1,821	1,801		
		女性	841	917	501	544	493	551	624	622	688	637	715	802		
		不明-その他	256	82	83	43	54	39	31	21	21	22	23	29		
		合計	2,785	2,943	2,339	2,333	2,113	2,226	2,471	2,483	2,352	2,901	2,559	2,632		
		合計	1,943	2,111	1,444	1,444	1,264	1,348	1,448	1,448	1,348	1,559	1,559	1,821		
	AIDS	男性	152	111	103	91	66	72	84	80	82	77	73	66		
		女性	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0		
		不明-その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		合計	1,195	723	647	598	499	421	409	380	320	347	303	238		
		合計	3,031	2,555	2,259	2,110	2,005	1,985	2,161	2,130	2,100	2,112	2,091	1,993		
HIV/AIDS比	男性	1.91	3.18	3.23	3.55	3.57	4.69	5.26	6.10	7.17	6.82	7.92	9.38			
	女性	3.56	4.86	4.86	5.98	8.22	7.85	9.75	7.90	10.77	8.27	9.78	13.09			
	不明-その他															
	合計	2.33	3.52	3.62	4.02	4.22	5.29	6.04	6.53	7.91	7.21	8.45	10.22			
オーストラリア	HIV	男性	822	738	655	843	878	672	756	783	782	888	858	910		
		女性	74	83	94	73	82	95	90	85	126	93	146	140		
		不明-その他	5	7	4	2	4	2	5	3	2	1	3	1		
		合計	901	828	753	918	965	769	851	871	910	982	1,007	1,051		
		合計	840	363	306	193	241	190	224	227	178	202	193	137		
	AIDS	男性	33	32	23	22	24	23	20	17	22	28	20	15		
		女性	1	1	1	1	1	1	2	1	2	1	3	1		
		不明-その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		合計	673	296	230	216	265	214	246	246	200	230	216	153		
		合計	1,462	1,059	961	836	919	962	960	1,010	958	1,070	1,061	1,047		
HIV/AIDS比	男性	1.28	2.03	2.14	3.33	2.81	3.54	3.36	3.45	4.44	4.30	4.45	4.45			
	女性	2.24	2.59	4.09	3.32	3.42	4.13	4.50	5.00	5.73	3.92	7.30	3.00			
	不明-その他	7.00	4.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	1.00	1.00	1.00	1.00			
	合計	1.34	2.09	2.78	3.22	2.88	3.59	3.46	3.58	4.55	4.18	4.65	4.65			

表1.HIV/AIDS報告数とHIV/AIDS比 年次推移 (3)

		性別	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	
英国	HIV	男性													2,702	2,137	2,068	2,104	
		女性													545	534	541	580	
		不明-その他													1	1	1		
		合計													2,748	2,672	2,608	2,684	
	AIDS	男性														1,406	1,568	1,638	1,500
		女性														173	241	229	284
		不明-その他																	
		合計														1,579	1,809	1,865	1,784
	合計	男性														3,608	3,705	3,702	3,604
		女性														718	775	770	864
		不明-その他														1	1	1	0
		合計														4,327	4,481	4,473	4,468
HIV/AIDS比	男性														1.57	1.36	1.26	1.40	
	女性														3.15	2.22	2.36	2.04	
	不明-その他																		
	合計														1.74	1.48	1.40	1.50	
フランス	HIV	男性																	
		女性																	
		不明-その他																	
		合計																	
	AIDS	男性																	
		女性																	
		不明-その他																	
		合計																	
	合計	男性																	
		女性																	
		不明-その他																	
		合計																	
HIV/AIDS比	男性																		
	女性																		
	不明-その他																		
	合計																		
ドイツ	HIV	男性															1,788	1,739	1,700
		女性															429	433	438
		不明-その他															145	93	91
		合計															2,360	2,265	2,229
	AIDS	男性				11	38	108	301	522	968	1,170	1,457	1,395	1,599	1,705	1,755	1,848	1,668
		女性					1	7	14	46	70	105	134	158	182	232	288	259	289
		不明-その他																	
		合計				11	37	115	315	568	1,038	1,275	1,591	1,553	1,781	1,937	2,023	2,107	1,937
	合計	男性															3,541	3,587	3,368
		女性															697	692	707
		不明-その他															145	93	91
		合計															4,383	4,372	4,166
HIV/AIDS比	男性															1.02	0.94	1.02	
	女性															1.60	1.67	1.63	
	不明-その他																		
	合計															1.17	1.07	1.15	

出典

米国 (報告数と補正済)	●HIV/AIDS ●HIV ●AIDS	Centers for Disease Control and Prevention (CDC).HIV/AIDS Surveillance Report (1982 to 2007). 以下のURLより入手可 URL: http://www.cdc.gov/hiv/topics/surveillance/resources/reports/index.htm (Last accessed January 26, 2009) URL: http://www.cdc.gov/hiv/topics/surveillance/resources/reports/past.htm#surveillance (Last accessed January 26, 2009) 注) HIV/AIDSとは①AIDSを発症していない新規HIV感染ケース、②HIV感染症の診断を受けた後、AIDSを発症したケース、③HIV感染症とAIDSの診断を同時に受けたケース、の3つを合わせたものである。
カナダ	●HIV ●AIDS	Public Health Agency of Canada. HIV and AIDS in Canada, Surveillance Report to December 31, 1999 - December 31, 2007 以下のURLより入手可 URL: http://www.phac-aspc.gc.ca/aids-sida/publication/index.html#surveillance (Last accessed January 26, 2009) 注) 2歳以下の子どもに関して、検査時に陽性であっても、最終検査で陰性のあることがあるため、ケベック州・ニューファンドランド州・ラブラドル州では、2歳以下の陽性ケースを除いている。しかし、残りの多くの州では18ヶ月より幼い子どものHIV感染を確定することが可能なため、上記の州であっても2歳以下の陽性報告が含まれている可能性がある。
オーストラリア	●HIV	National Centre in HIV Epidemiology and Clinical ResearchのWebサイトより2008年度のデータセット(HIVファイルとAIDSファイル)をダウンロードののち、MS Excelにて集計 以下のURLより入手可 URL: http://www.ncheer.unsw.edu.au/NCHECRweb.nsf/page/Annual%20Surveillance%20Reports (Last accessed January 24, 2009)
英国	●HIV ●AIDS	Health Protection Agency. HIV New Diagnoses Surveillance tables: UK data to the end of June 2008 No.78.08/1 以下のURLより入手可 URL: http://www.hpa.org.uk/web/HPAwebFile/HPAweb_C/1224574905324 (Last accessed January 26, 2009)
フランス	●HIV ●AIDS	Base de données VIH: Données issues de la déclaration obligatoire du VIH depuis 2003 jusqu'au 31 décembre 2007, Institut de Veille Sanitaire (Institut de Veille sanitaireのWebサイト上のデータベースより作成) 2006年、2007年度のデータは、届出中及び遅延した届出について補正していない。 以下のURLよりアクセス可 URL: http://www.invs.sante.fr/display/7d002/surveillance/vih-sida/BDD_vih/index.html (Last accessed January 24, 2009) 注) 2003年3月からサーベイランスが開始されたため、2003年度は10ヶ月(3月～12月)のデータである。
	●AIDS	Base de données sida: Données issues de la notification obligatoire du sida depuis 1982 jusqu'au 31/12/2007, Institut de Veille Sanitaire (Institut de Veille sanitaireのWebサイト上のデータベースより作成) 2006年、2007年度のデータは、届出中及び遅延した届出について補正していない。 以下のURLよりアクセス可 URL: http://www.invs.sante.fr/display/7d002/surveillance/vih-sida/BDD_sida/index.html (Last accessed January 24, 2009)
ドイツ	●HIV ●AIDS	HIV positive laboratory cases reported, Robert Koch Institute (Federal Health MonitoringのWebサイト上のAd hoc tableより作成) Data for 2007 includes only the cases, which were reported until the reference date February 29, 2008. AIDS new cases, Robert Koch Institute (Federal Health MonitoringのWebサイト上のAd hoc tableより作成) Data for 2007 includes only the cases, which were reported until the reference date December 31, 2007. 以下のURLよりアクセス可 URL: http://www.gbe-bund.de (Last accessed January 24, 2009)

表1.HIV/AIDS報告数とHIV/AIDS比 年次推移(4)

国	HIV/AIDS	性別	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	備考
			報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	
英国	HIV	男性	2,143	2,067	2,102	2,160	2,483	3,123	3,619	4,069	4,410	4,565	4,396	4,887	
		女性	596	680	781	972	1,292	1,976	2,555	3,261	3,184	3,151	2,938	2,846	
		不明	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	
		その他	2,739	2,768	2,884	3,162	3,875	5,100	6,724	7,350	7,594	7,716	7,334	7,734	
	AIDS	男性	1,189	869	604	573	593	489	566	530	517	511	439	424	
		女性	272	216	196	193	247	245	336	417	377	308	300	221	
		不明													
		その他	1,461	1,085	800	768	840	744	902	947	894	819	739	645	
	合計	男性	3,332	2,956	2,706	2,751	3,078	3,622	4,185	4,619	4,927	5,076	4,835	5,311	
		女性	868	899	997	1,165	1,638	2,221	2,991	3,678	3,561	3,459	3,238	3,067	
		不明	0	1	1	2	0	1	0	0	0	0	0	1	
		その他	4,200	3,866	3,684	3,928	4,715	5,844	7,126	8,297	8,488	8,535	8,073	8,779	
	HIV/AIDS比	男性	1.80	2.40	3.48	3.82	4.19	6.26	6.39	7.72	8.53	8.93	10.01	11.93	
		女性	2.19	3.11	3.88	5.04	5.84	8.07	7.80	7.82	8.45	10.23	9.78	12.88	
		不明													
その他		1.87	2.94	3.58	4.13	4.81	6.85	6.98	7.78	8.48	9.42	9.82	11.99		
フランス	HIV	男性								2,924	2,911	3,193	3,088	2,330	
		女性								1,847	2,059	1,980	1,774	1,254	
		不明													
		その他								4,771	4,970	5,173	4,862	3,584	
	AIDS	男性	3,273	1,801	1,511	1,396	1,354	1,238	1,180	1,052	928	889	754	410	
		女性	831	497	441	445	474	443	484	428	454	421	337	188	
		不明													
		その他	4,044	2,298	1,952	1,841	1,728	1,679	1,644	1,481	1,382	1,320	1,091	596	
	合計	男性								3,076	3,839	4,081	3,842	2,740	
		女性								2,278	2,513	2,401	2,111	1,442	
		不明													
		その他								5,852	6,352	6,482	5,953	4,182	
	HIV/AIDS比	男性								2.40	3.14	3.51	4.10	5.68	
		女性								4.31	4.54	4.70	5.28	8.76	
		不明													
その他									2.95	3.60	3.89	4.48	6.02		
ドイツ	HIV	男性	1,409	1,589	1,447	1,271	1,224	1,078	1,278	1,547	1,729	1,965	2,117	2,392	
		女性	411	443	439	430	432	345	420	397	455	484	503	444	
		不明	51	38	38	45	33	20	23	32	28	36	23	23	
		その他	1,871	2,070	1,924	1,746	1,689	1,443	1,719	1,976	2,212	2,505	2,643	2,752	
	AIDS	男性	1,394	878	776	690	671	677	635	647	577	526	500	234	
		女性	256	215	166	172	134	171	199	140	139	112	98	53	
		不明													
		その他	1,652	1,093	942	862	805	748	694	667	716	638	598	287	
	合計	男性	2,805	2,467	2,223	1,961	1,895	1,655	1,711	2,044	2,306	2,511	2,617	2,519	
		女性	667	658	605	602	566	516	579	537	594	596	601	497	
		不明	51	38	38	45	33	20	23	32	28	36	23	23	
		その他	3,523	3,183	2,866	2,608	2,494	2,191	2,412	2,683	2,929	3,143	3,241	3,039	
	HIV/AIDS比	男性	1.01	1.81	1.86	1.84	1.82	1.87	2.39	2.83	3.00	3.77	4.23	9.76	
		女性	1.61	2.06	2.64	2.90	3.22	2.02	2.64	2.84	3.27	4.32	5.13	8.38	
		不明													
その他		1.13	1.89	2.04	2.02	2.10	1.93	2.40	2.88	3.09	3.93	4.42	9.59		